令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：企画調整係
氏名：北村　嘉規

受入課室等名	研究開発局　地震火山防災研究課			
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　□ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）			
受入時期 受入期間	2月1日(月)　～　3月26日(金) 2　週間		受入人数 （受入時期内の合計受入数）	最大2人 （重ならない期間で1人ずつ受入予定）
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○			
受入条件	地震・火山・防災分野の研究開発を支える行政に関心のある方はもちろん、文部科学行政（特に科学技術）に関心のある方を歓迎しております。 基本的なパソコン操作（Word・Excel・PowerPoint等）ができることが望ましいです。 専門的な知識や技術は必要ありません。			
実習内容	課内各係の担当者による業務説明等を通じて、地震・火山・防災分野の研究開発を行政がどのように支えているかを学びます。参加者ご本人の気づきや関心を踏まえ、たとえば以下のような実習を行い、その後テーマを設定して施策を検討していただきます。 **○地震火山防災研究課の業務全体の俯瞰** **○各係が担当する政策課題について担当者と意見交換** ・地震・火山・防災分野の研究開発をさらに発展させるために、行政にはどのような取組が求められるか？ ・研究成果を防災対策や国民への情報発信に効果的につなげるには、どのような取組が必要か？ ・将来の地震・火山研究を担う研究者や専門人材をどのように育成・確保していくか？ ・防災科学技術研究所のプレゼンス向上にはどのような工夫が必要か？ など **○各種会議の資料準備、会場準備、運営補助及び傍聴** **○地震・火山・防災分野の課題解決に資する施策の検討** その他関心に応じて、他課の職員とお話しできる場も設けることができます！			
受入課室等紹介	地震火山防災研究課では、自然災害による被害の軽減を目指し、地震・火山・防災に関する研究開発等を推進しています。 《施策例》 **● 地震調査研究推進本部・火山調査研究推進本部** ともに政府の司令塔として、地震及び火山の調査研究の一元的な推進に取り組んでいます。たとえば地震本部では、観測網の整備や活断層及び海溝型地震の長期評価、全国地震動予測地図の作成をはじめとした地震に関する総合的な評価を行っています。また、令和6年4月に設置された火山本部では、火山に関する観測、測量、火山活動の状況について総合的な評価等を行っています。 **● 海底地震津波観測網の構築・運用** 世界に類を見ない海底地震津波観測網を運用し、観測データを活用した地震調査研究を推進しています。これらの観測データは、地震・津波の早期検知や緊急地震速報などの迅速な情報発信にも活用されています。 **● 防災科学技術に関する研究開発の推進** 所管法人である「国立研究開発法人 防災科学技術研究所」において、稠密な陸海統合地震津波火山観測網（MOWLAS）による観測や、大型降雨実験施設等の日本唯一の大型実験施設を活用した研究をはじめ、あらゆる自然災害を対象とした基礎・基盤的な研究開発を推進しています。 **● 情報科学を活用した地震研究の推進** AI、ビッグデータ等の情報科学と地震学を融合させ、地震活動・地震動評価技術の高度化を目指すプロジェクトを実施しています。 **● 火山の研究開発と人材育成の推進** 火山ハザードの把握や予測に資する研究開発と、将来の火山研究を担う研究者・専門人材の育成を一体的に推進しています。 当課には、研究機関や気象庁、国土地理院などの他省庁、一般企業から出向している職員が多く在籍しています。様々なバックグラウンドを持つ職員がそれぞれの専門分野を活かしながら、日々協力・刺激しあって働いています！			
受入課室等からのひと言	自然災害が多く発生する日本において、国民の生命および財産を守るために、当課では地震・火山・防災分野の研究開発を推進しています。行政側の立場からあらゆる自然災害に関する研究開発の最前線を一緒に体験してみませんか？ご応募お待ちしております！			

令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：総括係員
氏名：土谷、太田

受入課室等名	研究開発局環境エネルギー課			
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　□ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）			
受入時期 受入期間	2月1日(月)　～　3月19日(金) 1　週間		受入人数 （受入時期内の合計受入数）	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○			
受入条件	気候変動問題への対応やカーボンニュートラル社会の実現に向けた研究開発について興味関心をお持ちの方や、文部科学省の業務を体験してみたい方を歓迎しています。WordやExcel、Power Point等、パソコンの基本操作を習得していることが望ましいです（専門知識や技術は必要ありません）。			
実習内容	【環境エネルギー課の行政実務の経験】 ○環境エネルギー課内 各係の業務補助 ○各種会議の準備、運営補助及び傍聴 ○環境問題に対する情報収集、職員との意見交換 ○省内職員へのインタビュー、関連施設の見学 等、業務の状況によって変動する可能性がありますが、 その他、参加者の方の希望を考慮して計画いたします。 興味・関心がある業務がございましたら、志望業務欄にご記入ください。			
受入課室等紹介	環境エネルギー課では、地球温暖化による気候変動問題を解決するため、持続的な発展を可能とする「脱炭素社会」への転換を目指した研究開発を推進しています。 具体的には ○気候変動の予測精度の向上や、予測結果を活用する技術等の研究開発 ○省エネルギー社会実現のための次世代半導体の実用化に向けた分野横断的な知見の創出 ○革新的なグリーントランスフォーメーション（GX）を実現するための水素、蓄電池、バイオものづくりにおけるシーズの創出 等、大学、研究開発法人、企業等の地球温暖化対策の第一線で活躍している研究者とともに、様々な環境エネルギー科学技術の研究開発に取り組んでいます。			
受入課室等からのひと言	環境問題に関心のある人はもちろん、行政、国家公務員の仕事に興味のある方の応募も大歓迎です。 インターンシップでの経験が進路選択の一助となれば幸いです。			

令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：開発係　係員
氏名：阿部　広也

受入課室等名	研究開発局宇宙開発利用課		
募集学校種	□大学院　□大学　□短期大学　□高等専門学校　□専門学校 □高等専修学校　□高等学校　□中学校　○問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）		
受入時期 受入期間	3月1日(月)　～　3月5日(金) 1週間	受入人数 （受入時期内の合計受入数）	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○		
受入条件	特になし。（専門的な知識や技術は必要ありません。）		
実習内容	宇宙開発利用課が所掌する宇宙・航空政策について、職員からの説明や資料調査を通じて理解を深める。あわせて、政策に関する課題について職員とのディスカッションを行い、政策立案・推進のプロセスを学ぶ。実習期間中は、提示された政策課題について検討を行い、最終日に成果発表を実施する。		
受入課室等紹介	宇宙開発利用・航空分野の技術開発と研究開発、基幹ロケット、地球観測衛星、探査機、宇宙科学、宇宙戦略基金、アルテミス計画、宇宙分野の国際協力に関する業務を行っています。		
受入課室等からのひと言	専門的な知識や技術は必要ありません。宇宙開発利用課の業務に関心があり、意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております。		

令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：係員
氏名：杉澤光流

受入課室等名	研究開発局　原子力課		
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　□ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）		
受入時期 受入期間	2月1日(月)　～　3月26日(金) 2　週間	受入人数 （受入時期内の合計受入数）	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○		
受入条件	ワード、エクセル、パワーポイント等の基本的なパソコン操作ができること （専門的な知識や技術は必要なし）		
実習内容	【原子力課における行政実務の経験】 ・原子力科学技術に関する政策の企画・立案 ・基礎資料の作成、データ収集、集計及び分析　等		
受入課室等紹介	原子力課では、国として重要な原子力科学技術に関する施策を体系的かつ総合的に推進・展開しています！ 〇次世代革新炉の開発及び安全性向上に資する技術基盤等の整備・強化 〇新たな試験研究炉の開発・整備の推進 〇原子力科学技術に関する研究・人材基盤の強化 〇廃止措置を含むバックエンド対策の抜本的強化 〇東京電力福島第一原子力発電所事故への対応		
受入課室等からのひと言	AIの進展による電力需要の増加など、エネルギーを取り巻く状況は大きな転換期を迎えており、原子力の重要性は世界的にも高まっています。 原子力は、発電にとどまらず、医療用放射性医薬品の供給、材料分析や新素材開発などの最先端研究を支える基盤技術として、幅広い分野で社会を支えています。 文部科学省原子力課では、「世界をリードする原子力人材の育成、研究開発の推進、利活用の拡大、そして安全確保のための技術基盤の整備」を柱に、産業界やアカデミア、経済産業省をはじめとする関係府省と連携しながら、原子力分野の総合的な基盤強化に取り組んでいます。 そのような政策の最前線を、インターンシップを通じて体験してみませんか。		